

多彩な催し、夏を楽しむ

8/15 サルタフェスタ2018

高千穂

高千穂町の夏のイベント「サルタフェスタ2018」が11日、町総合公園であった。小雨が降り続くあいにくの空模様の中、町内外から大勢の人たちが来場、ステージイベントやバザー、花火の

打ち上げなど多彩な催しを楽しんだ。今年も、平成最後の夏にちなみ、「Hey Say! (平成) LAST SUMMER」をテーマに開催した。会場の特設ステージは、木の花幼保園の園児

や県のシンボルキャラクター「みやぎぎ犬」、五ヶ瀬町の社会人吹奏楽団「G音楽たい」のほか、ダンスグループ、バンドなどが次々と出演。同町の姉妹都市、沖縄県豊見城市の公式キャラクター

「アゴマゴちゃん」も登場し、愛嬌あいきょうを振りまいた。

夕方から夜にかけては約3時間の音楽フェスタあり、スペインゲストとしてシンガー・ソングライター八神純子さんが出演。同町出身のトランプッター長友誠さんがメンバーのクラブジャズバンド「JABBERLOP (ジャバループ)」との協演でヒット曲「みずいろの雨」などを披露した。ラストは出演アーティストと高千穂小学校、高千穂中学校、高千穂高校の吹奏楽部などとのコラボ演奏で盛り上がった。

会場内では、町内外の24団体が飲食物を販売する出店が軒を連ねたほか、「山の日」にちなんだイベントも同時開催され、木工教室や木製遊具コーナーなどが子供たちの人気を集めた。恒例の花火の打ち上げでフィナーレを飾り、約1500発が高千穂の夜空を彩った。

にぎわったサルタフェスタ2018



みなとオアシス

北浦臨海パーク県内3番目

岡

8/15 国交省あす、登録証交付式 延

国土交通省港湾局の「みなとオアシス」に延岡市北浦町の北浦臨海パーク（古江港一帯）が登録され、16日午後5時から同パークで開催される「きたたら納涼花火大会」で登録証の交付式が行われる。オアシス登録は昨年7月の細島港、今年5月の油津港に次ぎ県内で3カ所目。

国土交通省は、旅客船ターミナルや文化交流、情報提供、地元産品の販売・飲食など住民参加型の地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として登録する制度を平成15年に創設、「みなと」を核としたまちづくりや観光の振興、地域活性化を支援している。

「みなとオアシス北浦臨海パーク協議会（日高広道会長）が運営する北浦臨海パークは、全国で121カ所目の登録。パークの核となる観光案内所やきたたら海市場、海浜運動公園などの施設を核に、納涼花火大会や日豊海岸岩カキまつり、海鮮・山鮮・きたたら市イベント開催、ひむか本サバや五ヶ瀬などうかンパチ、へべすフリ、ほる酔いカンパチなどのフランド魚を周辺の飲食店で味わうことができ、壮大な海原を船で巡るクルーシングなど「観光」「食」「マリレジャー」の取り組みが継続的に行

われている。登録証の交付式は、同省九州地方整備局宮崎港湾・空港整備事務所が主催して納涼花火大会のステージで開き、河野俊嗣知事、県議、市議ら関係者が出席。同省九州地方整備局から詠谷山洋司市長に登録証が交付され、運営者代表の日高・みなとオアシス北浦臨海パーク協議会長が謝辞を述べる。

2018.8.15